

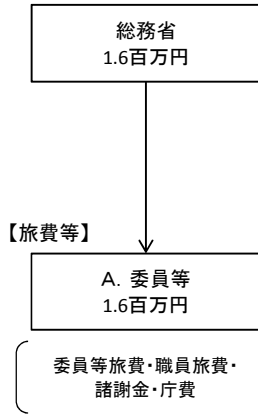
平成27年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	地方独立行政法人の支援に要する経費			担当部局	自治行政局	作成責任者			
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	行政経営支援室	室長 福田毅			
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅱ-1 分権型社会にふさわしい地方行政体制整備等				
根拠法令(具体的な条項も記載)	地方独立行政法人法			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地方独立行政法人制度は、地方公共団体の事務・事業のアウトソーシングの手法として平成16年4月に導入され活用されてきたところであるが、平成26年度に国の独立行政法人制度が改正されたこと、また、地方公共団体から制度改正の要望が寄せられていることを踏まえ、制度を活用する団体がより効率的・効果的な法人運営を行うことを可能とするため、制度等の見直しの必要性及びその方向性について調査・研究を実施する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	地方独立行政法人制度の見直しの必要性及びその方向性について、外部有識者を交えた研究会等による調査・研究を実施し、その結果について地方公共団体への情報提供を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	2.8	-	1.6	1.5		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	2.8	0	1.6	1.5		
		執行額	-	0.4	-	-	-		
	執行率(%)	-	14%	-	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	平成27年度には、調査結果を8件の法令や施策等へ反映する	法令や施策等への反映件数	成果実績	件					
			目標値	件					8
			達成度	%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	研究会の開催回数	活動実績	回	-	1	-	-	-	
		当初見込み	-	-	-	-	-	8	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/研究会開催回数	単位当たりコスト	百万円	-	0.4	-	-	0.2	
		計算式	執行額/研究会開催回数		25年度執行額/25年度研究会開催回数		27年度執行額/27年度研究会開催回数		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.4	0.1						
	職員旅費	0.1	0.6						
	委員等旅費	0.5	0.2						
	庁費	0.6	0.6						
	計	1.6	1.5						

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	地方行革の推進の観点から行政サービスをより効率的かつ効果的に提供するために検討を行うもの	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地方独立行政法人制度の見直しの方向性を検討するものであり、国が行うべき事業	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	制度の見直しを行うにあたり、有識者による検討が必要であり、優先度の高い事業	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は委員、印刷業者など	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	H25年度に比べ半減	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	謝金等に限定	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みのとおり	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	旅費や謝金は総務省所管旅費取扱規程及び総務省諸謝金等使用基準に基づいたものであり、業務上必要最小限にとどめている。			
	改善の方向性	今後とも引き続き、執行額を抑制し、コスト削減に努めていきたい。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	事業内容を適切に見直し経費の効率化を図る。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度		平成23年度		平成24年度	
平成25年度	新25-0002	平成26年度	0009		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位:百万円)



※平成26年度は執行実績がないため、平成27年度執行イメージを記載

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※H26年度執行実績なし				
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック